



Vol.7  
春号

発行 医療法人 喜多岡医院 平成26年3月1日



## 院長通信



院長 喜多岡雅典

花粉症持ちの私は、寒さが緩んで暖かくなるこの季節、実はちょっと苦手です。毎年花粉症対策をすることにより、辛い季節と言うほどではなくなりましたが、マスクをしたり、目薬を差したり、外出後は衣服を払ったりと色々と日常生活の手間が増えるのです。私の場合スギ花粉症だけなので、ゴールデンウィーク(GW)前までですが、ヒノキ花粉も合併している方はGW明けまで症状が続きます。さらにイネ科の花粉症もある方は、夏前にピークが来て、せき喘息なども合併しやすいので注意が必要です。

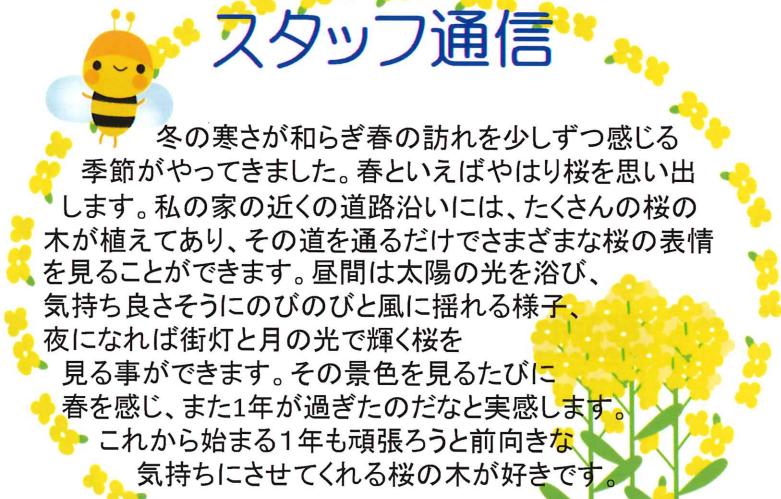
甜茶やハーブ、ヨーグルトなどの民間療法は、一部の例外的な方を除き、ほとんどの方に効果が少ないと考えた方が良さそうです。とてもコストパフォーマンスに見合うものではないので、病院で治療と生活指導をうけるのが最も有効と思われます。

私自身、花粉症歴20年以上、花粉症治療医歴15年ですので、当院でも様々な花粉症治療、飲み薬15種類以上・点鼻薬4種類・目薬4種類を、患者さんの症状やご希望に合わせて処方いたします。もちろん耳鼻科や眼科が専門ではありませんが、内科医ならではの処方の仕方もありますので、早めに当院にご相談下さい。症状がピークになっての治療は、薬の効果に限界があるので、早めの受診をお勧めします。ちなみに私は、症状がまだ出始めていない、成人式が終わった頃からバレンタインデーまでには、予防的治療を開始します。

シーズンを通しての、症状の辛さの総量がぐっと軽減するからです。ほとんどの飲み薬はジェネリック薬品も出ていますのでいろいろなご相談に応じます。



## スタッフ通信



冬の寒さが和らぎ春の訪れを少しずつ感じる季節がやってきました。春といえばやはり桜を思い出します。私の家の近くの道路沿いには、たくさんの桜の木が植えてあり、その道を通るだけできまざまな桜の表情を見ることができます。昼間は太陽の光を浴び、気持ち良さそうにのびのびと風に揺れる様子、夜になれば街灯と月の光で輝く桜を見る事ができます。その景色を見るたびに春を感じ、また1年が過ぎたのだなと実感します。これから始まる1年も頑張ろうと前向きな気持ちにさせてくれる桜の木が好きです。

事務 津乗



ゴールデンウィーク  
休みのお知らせ  
4/29(火)～5/7(水)  
は休診日です  
5/8(木)から通常  
通りの診察です★

# あなたの健康のために ~アレルギー~

アレルギーとは…体の「免疫反応が過剰に働きすぎる状態」。

免疫とは…体に入った異物・病原体・がん細胞などを排除するために、自分自身が色々なシステムを動員して、除去しようと働くこと。

つまり  
アレルギーとは

花粉やダニ、ホコリ、食べ物などに対して、必要なほど強く体が反応してしまう状態。

近年、先進国で急増中!!

衛生環境が良くなり、寄生虫や細菌感染にさらされる機会が減っていることが理由のひとつと考えられています。現に、寄生虫のサナダムシが腸に住んでいると、アトピーや鼻炎が治まるという事実も報告されています。スギやヒノキの花粉の多い田舎よりも、花粉の量はそれほどでなくとも、大気汚染の進んだ都市部の方が、花粉症患者が多いこともよく知られています。

毒をもって毒を制す!?

今年「舌でなめる」花粉症の薬が認可されるそうです。画期的新薬のような報道も見受けますが、アナフィラキシーショックなどの強い副作用が起こる可能性や、治療期間も2-3年間毎日継続が必要なのでちょっと大変です。ただ、今まで減感作療法を毎週注射で行っていた方には朗報といえるでしょう。つまりアレルゲンを少しずつ体に入れることで慣らしていくという発想ですが、危険な場合もあり、まだ少し様子を見た方が良さそうです。

## 代表的なアレルギー疾患

- ・気管支ぜんそく
- ・アトピー性皮膚炎(皮膚湿疹)
- ・アレルギー性鼻炎(花粉症など)
- ・食物アレルギー など

## 胃腸のお話

### ～胃がんとヘリコバクターピロリ菌～

胃がんの原因は遺伝ではなく感染症!?

毎年10万人の方が胃がんになり、約5万人が亡くなっています。昔から胃がんは我が国の国民病と言われてきました。

昨年、日本人の胃がんの原因は99%ヘリコバクターピロリ菌(以下ピロリ菌)であることが判明しました。これを機に厚生労働省は、胃潰瘍がなくてもピロリ菌治療を保険適応に変更しました。ピロリ菌を持っている人にとって朗報と言えるでしょう。日本人の約4割弱は胃にピロリ菌を持っています。若い人には少なく、年代がすすむほど多くなりますが、徐々に感染が広がるのではなく、幼少期の飲料水などの環境が原因と考えられています。

また、ピロリ菌の除菌をすることで胃がんの発生を減らせることが明らかになってきました。今までに胃の不調を感じたことがある方は、内視鏡検査をお勧めします。

同時にピロリ菌検査もできますので、もし陽性なら早めに除菌治療を行いましょう。

内視鏡検査受けたくないが  
ピロリ菌気になる…という方!!

血液検査でも分かります!!



胃のABC検診といい、ピロリ菌の有無と胃の粘膜萎縮の有無(ペプシノーゲン)を調べることで、発がんのリスクの大小がわかる検査があります。  
ぜひご相談下さい!!

内科・小児科・胃腸内科・肛門外科

(医)喜多岡医院

<http://www.kitaokaclinic.jp>

受付時間	月	火	水	木	金	土	日祝
AM9:00~12:30	●	●	/	●	●	●	/
PM4:00~ 6:30	●	●	/	●	●	/	/

- ・日本消化器病学会認定 消化器病専門医
- ・日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医
- ・日本大腸肛門病学会認定 大腸肛門病専門医

〒543-0052 大阪市天王寺区大道3丁目1-23 EMAビル2F TEL.06-6771-8025

